

令和8年度予算 主要事業 (1/2)

路面電車・地下鉄共通

老朽化対策

南車両基地改築ほか工事(耐震改修等)

R8 : 6,663百万円
期間 : ~R15
総事業費 : 396億円

開業から50年以上が経過。R8年度は、既存車庫棟等の一部解体及び工場棟等の新築を行う。



本局庁舎ほか大規模改修工事

R8 : 1,044百万円
期間 : ~R10
総事業費 : 98億円

ZEB認証の取得を含めて改修を行う。
仮庁舎への移転期間(予定)
: R8年7月頃～R10年8月頃



駅リフレッシュ改修工事(北18条駅)

R8 : 40百万円
期間 : ~R10
総事業費 : 13億円

【改修計画】
R7～8年度 : 設計
R9～10年度 : 工事
※R9～R10年度に北12条駅の設計予定



バリアフリー化

段差隙間縮小に向けた駅ホーム改良工事

R8 : 410百万円
期間 : ~R8
総事業費 : 8.0億円

【改良計画】 R6年度 : 4駅
R7年度 : 24駅
R8年度 : 21駅
(全駅完成予定)



エレベーター新設工事(大谷地駅)

R8 : 217百万円
期間 : ~R8
総事業費 : 5.5億円

地下鉄とバスタークニナル間に、
新たなバリアフリー経路を整備するため、エレベーターを増設。



新型低床車両の導入(路面電車)

R8 : 368百万円

【低床車両数】
R8年度末 : 16両/36両

バリアフリー対応の低床車両(ポラリスII、定員75名)を1両導入。※シリウスより定員15増



安全対策

地下鉄車内防犯カメラ設置

R8 : 203百万円
期間 : R6～R9
総事業費 : 5.5億円
東豊線はR8年度、南北・東西線はR9年度に設置が完了。



光警報装置新設工事

R8 : 192百万円
期間 : ~R9
総事業費 : 2.0億円
主に聴覚障がい者や高齢者に対して火災を光で伝える装置を全駅トイレに設置。



增收対策

デジタルサイネージ広告事業

R8 : 72百万円

大通駅に大型のLEDディスプレイを新設。
広告の募集はR9年度から開始。



副駅名看板広告(収入予算)

R8 : 20百万円 (収入)

既存の13駅に加え、新たに8駅(幌平橋、宮の沢、新さっぽろ、福住ほか)を募集。



令和8年度予算 主要事業 (2/2)

路面電車・地下鉄共通

↑ サービスアップ

暑さ対策

R8 : 98百万円

・地下鉄車両空調装置の搭載検討業務

R8 : 61百万円

冷房装置搭載の実現可能性について調査を行う。

・スポットクーラー設置

R8 : 13百万円

南北線の各駅ホームにスポットクーラーを設置する。全60台。

・暑さ対策検討業務

R8 : 5百万円

南北線高架駅について、現状の調査及び暑さ軽減の手法を検討する業務を行う。

大通定期券発売所の移設整備

R8 : 264百万円

利用開始 : R9予定

総事業費: 2.7億円

利用者の待合スペースを確保した定期券発売所を整備。

クレジットカード専用定期券発行機導入

R8 : 債務負担設定のみ

利用開始 : R11予定

総事業費: 7.0億円

現在、定期券発売所のみクレジットカード決済に対応しているため、全駅にクレジットカード決済専用の発行機を1台ずつ設置。



新技術への対応

南北線シェルタードローン詳細点検

R8 : 8百万円

ドローンにより高所部の詳細の点検を行うもの。
通常よりも短期間で点検を終えることができる。



次世代乗車システム

・次世代乗車システム検討業務

R8 : 25百万円

将来の磁気券廃止を見据えて、QRコード乗車券の導入に向けた検証を行う。

・タッチ決済の普及・促進【地下鉄】

R8 : 32百万円

タッチ決済の上限運賃制を導入し、対応通路を増設。

【路面電車】

路面電車全車両でタッチ決済をスタート。



人材確保

地下鉄駅業務等委託料

R8 : 4,676百万円

人手不足の中で処遇改善を図るために、従事者給与水準を見直し。

地下鉄乗務員のキャリアパスの多様化を図り、旅客対応水準の向上のため、R9年度から委託範囲の見直しを実施。R8年度は実施体制を検討。



駅業務省力化関連事業

R8 : 288百万円

駅業務の省力化のため、新たな技術を導入するもの。

R8は、一部駅で「シャッター自動開閉システム」、「ICカードリモート処理機」、「POSレジ」を先行的に導入し、R9から運用を開始。



「ICカードリモート処理機」
駅務室で扱っていたICカードの書き換え等の処理を遠隔で行うもの



「POSレジ」
現金の取扱いの効率化